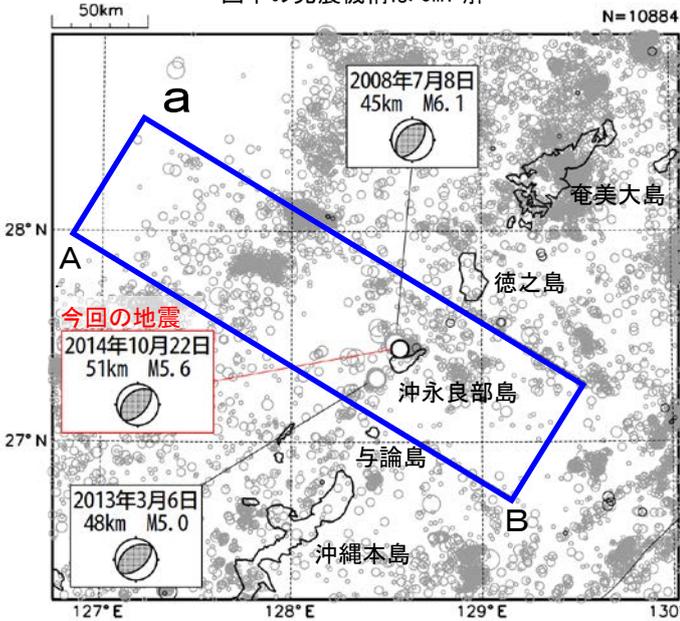


# 10 月 22 日 沖縄本島近海（沖永良部島付近）の地震

震央分布図  
 (1994 年 10 月 1 日～2014 年 10 月 31 日、  
 深さ 0～150km、 $M \geq 2.5$ )  
 2014 年 10 月の地震を濃く表示  
 図中の発震機構は CMT 解

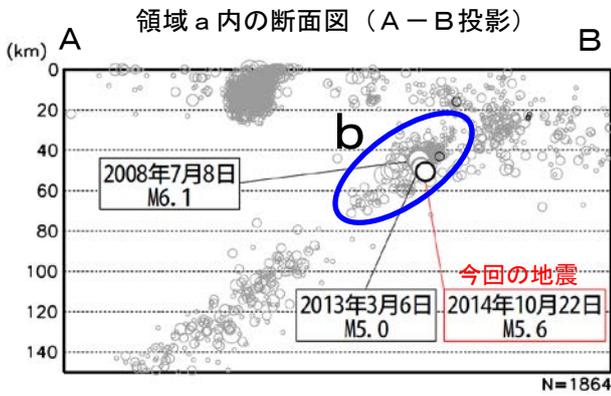
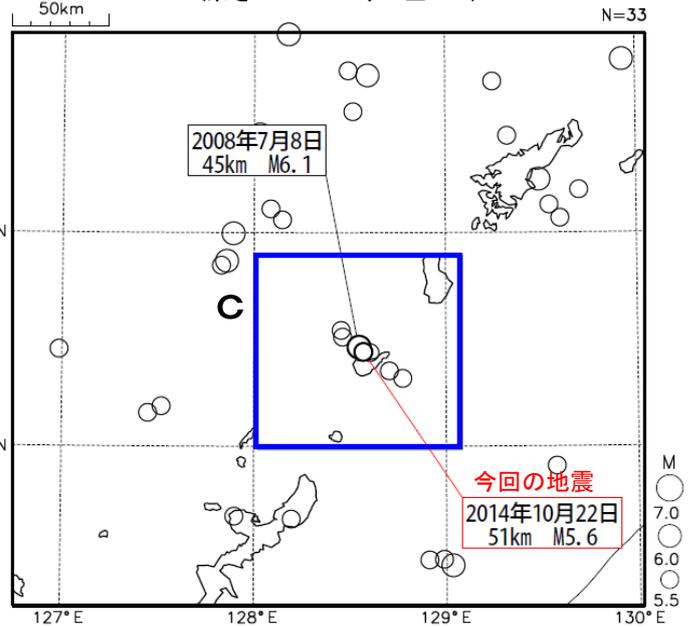


2014年10月22日09時15分に沖縄本島近海（沖永良部島付近）の深さ51kmでM5.6の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

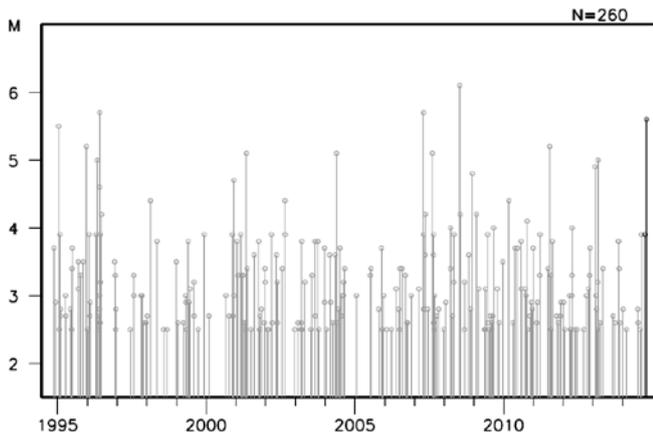
1994年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺（領域b）では、M5.0以上の地震がしばしば発生しており、最近では2013年3月6日にM5.0の地震（最大震度4）が発生している。

1973年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、2008年7月8日にM6.1の地震（最大震度5弱）が発生し、鹿児島県与論町（与論島）のホテルの壁の一部破損や柱の石膏ボード破損の被害が生じた（総務省消防庁による）。

震央分布図  
 (1973 年 1 月 15 日～2014 年 10 月 31 日、  
 深さ 0～90km、 $M \geq 5.5$ )



領域 b 内の M-T 図



領域 c 内の M-T 図

